

# まごころ

第8号

2011年  
慈英病院  
広報誌

## お花見



昔の・・・いや、今も美男美女  
でございます



ナンヤカンヤあって、楽しい  
わ!



俺は、花より焼酎じゃなあ〜。  
うまかった。



外の空気を吸うと元気がでま  
す。笑顔にもなります。

病院から一步外に出ると春が  
来ています。後田川緑道公園沿い  
の木々は新緑に輝き、桜の花も咲  
いています。  
今年も大切な人と一緒に  
少しだけ春を  
味わっていただきました。  
ご入院中ですが、春の風に触  
れ、心地良さを少しでも感じて頂  
きたいと・・・職員の願いです。



長生きして欲しいです。



毎日の介護も  
デートを兼ねて  
また楽しいですよ。

みんなで朗らかに  
やっています。



楽しく、明るく元気でい  
きましょう。

甘えん坊でわがまま母です。  
ご迷惑をかけています。



お世話になり、もうすぐ一年に  
なります。皆様のおかげで今は、  
体調も良く毎日が感謝の気持ち  
で一杯です。

一時帰宅に合わせて、お兄さんお姉さんが集まってくださいました。



我が家で妻が入れたくれたお茶は、ちょっと渋かったが、うまかったなあ～。

## ただいま！・・・お帰りなさい。

一度は、自分の家に帰って自分で造った庭の木々を見てみたいと考えていました。「帰れるはずはないなあ。夢のようなことだ」と感じていました。今回、病院の好意で「職員が同行しますから、森山さん、ご自宅に帰ってみませんか？」と言われ、夢のようだった。

チャンスが来て、帰る途中の車中で涙が出て、見慣れたはずの風景が霞んで見えた。今は、「お前がひとりで家を守っておるんじゃから」と感謝の気持ちを妻に伝えることができた。



久しぶりに戻られたお部屋では、懐かしいイチョウの絵がご主人の帰りを待っていました。



重い石を運んで作った我が家の庭は、今も手入れが行き届いています。

帰って見たら家の周囲がきれいにしてあって本当に良かった。庭もきれいにしてあった、我が家で姉や兄が帰りを待っていてくれた。一緒に写真を撮ったりして、感謝、感謝だった。みんなに「ありがとう」と伝えたい。気持ちが晴れた。これからも、色々と苦勞をかけるが「心配するな」と妻に伝えたい。機会があればいつでも帰れるように、私もコツコツと体力をつけて、妻と家で過ごせるように努力をしていきたい。

妻へ・・・また、帰るから心配するな。安心して家を守ってください。親戚の皆さんへ・・・台風なんかで困ったら妻を助けてやってください。子供達へ・・・素直に生きろ。心配をせず自分の人生を楽しみなさい。

森山恭宏

## 今、こんなことに取り組んでいます。「高齢者の擁護すべき権利」

今回、高齢者の擁護すべき権利を勉強して、患者さんに対しての声かけの在り方について再度学びました。

患者さんの意思を尊重し、選択できるような声かけを、普段からしているつもりでも、まだ不十分であることに気付かされました。例えば、入浴の準備ひとつを考えても、「明日のお風呂の準備をしておきますね。」とパジャマを準備するだけでした。患者さんにもお気に入りのパジャマがあるでしょうし、気分によって私達が準備するものと違う場合もあるでしょう。患者さんの意思を聞かずにいる。しかし、どんな小さなことでも、患者さんに選択して頂けるような声かけをし、耳を傾け、思いを知る努力をすることで、新しい気付きに繋がるのだと思います。

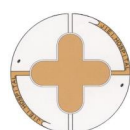
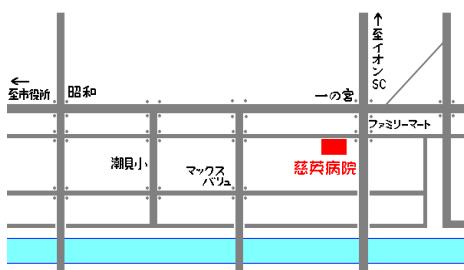
今回学んだことを、職員全員が実行できるようにし、患者さんが安心して生活を送れるようにしたいという思いから研修会を行いました。

介護士 清泰蔵



### 編集委員

江藤裕子 高瀬祐枝  
竹迫彩 富永亜津妙  
横山恵美子 黒木咲野  
清泰蔵 砂地優宏  
黒松和子 古市恵美子  
安達仁美 中野麻美  
東洋一 木村優子



# 慈英病院

診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科  
〒880-0853 宮崎市中西町160番地  
TEL 0985-23-5000 FAX 0985-23-5886  
<http://www.jiei.jp> e-mail [info@jiei.jp](mailto:info@jiei.jp)